



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月3日

上場会社名 味の素株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2802 URL <https://www.ajinomoto.co.jp/company/>  
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 中村 茂雄  
問合せ先責任者 (役職名) 執行理事グローバル財務部長 (氏名) 渡辺 一臣 TEL 03-5250-8111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,151,035	7.8	138,201	11.0	127,592	11.5	91,097	7.4	82,441	6.2	132,430	△8.5
2024年3月期第3四半期	1,067,645	4.0	124,497	4.4	114,444	2.9	84,824	4.9	77,602	1.5	144,741	22.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 163.08	円 銭 163.08
2024年3月期第3四半期	148.64	148.61

(注) 当社グループは、IFRSの適用にあたり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
2025年3月期第3四半期	百万円 1,856,229	百万円 880,163	百万円 811,412	% 43.7
2024年3月期	1,768,371	884,448	815,074	46.1

(注) 当中間連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年3月期第3四半期	百万円 149,293	百万円 △50,215	百万円 △47,328	百万円 229,374
2024年3月期第3四半期	103,446	△124,920	115,141	230,761

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 37.00	円 銭 —	円 銭 37.00	円 銭 74.00
2025年3月期	—	40.00	—		
2025年3月期（予想）				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,532,500	6.5	160,000	8.3	95,000	9.0	188.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	508,314,754株	2024年3月期	521,430,854株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	9,971,551株	2024年3月期	8,864,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	505,522,221株	2024年3月期3Q	522,071,565株

（注）期末自己株式数には、当社の役員等を対象とする中期業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2025年3月期3Q 405,600株、2024年3月期 409,900株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P2.「1. 経営成績等の概況（1）当四半期の経営成績の概況」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は2025年2月3日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(企業結合) .....	15
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

当社グループは、IFRSの適用に当たり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

また、当中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初測定額の重要な見直しを反映しております。

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の売上高は、換算為替の影響を含め、調味料・食品セグメント、冷凍食品セグメント及びヘルスケア等セグメント、いずれも増収となり、前年同期を833億円上回る1兆1,510億円（前年同期比107.8%）となりました。事業利益は、調味料・食品セグメント及びヘルスケア等セグメントの増収効果等により、前年同期を137億円上回る1,382億円（前年同期比111.0%）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、事業利益の増益等により、前年同期を48億円上回る824億円（前年同期比106.2%）となりました。なお、2024年11月7日に公表しました業績予想の修正は行っておりません。

## セグメント別の概況

セグメント別の業績は次のとおりです。

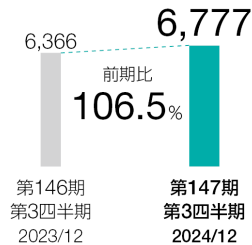
対前年実績	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第147期 第3四半期	前年同期増減	前年同期比	第147期 第3四半期	前年同期増減	前年同期比
調味料・食品	6,777	411	106.5%	968	34	103.7%
冷凍食品	2,187	86	104.1%	76	△24	76.0%
ヘルスケア等	2,428	332	115.9%	289	98	152.0%
その他	116	4	103.7%	47	27	243.2%
合計	11,510	833	107.8%	1,382	137	111.0%

業績予想に対する進捗	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第147期 第3四半期	通期予想	進捗率	第147期 第3四半期	通期予想	進捗率
調味料・食品	6,777	8,899	76.2%	968	1,087	89.1%
冷凍食品	2,187	2,927	74.7%	76	112	67.9%
ヘルスケア等	2,428	3,313	73.3%	289	355	81.4%
その他	116	184	63.1%	47	44	106.4%
合計	11,510	15,325	75.1%	1,382	1,600	86.4%

## ① 調味料・食品セグメント

調味料・食品セグメントの売上高は、販売増や換算為替の影響等により、前年同期を411億円上回る6,777億円（前年同期比106.5%）となりました。事業利益は、増収効果等により、前年同期を34億円上回る968億円（前年同期比103.7%）となりました。

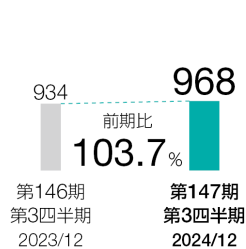
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・調味料は、全体で増収。  
日本は、販売増により増収。  
海外は、販売増や為替影響により増収。
- ・栄養・加工食品は、全体で増収。  
日本は、主に単価上昇効果により増収。  
海外は、為替影響や販売増により増収。
- ・ソリューション&イングリディエントは、為替影響や、業務用製品の販売増等により増収。

## 事業利益(億円)



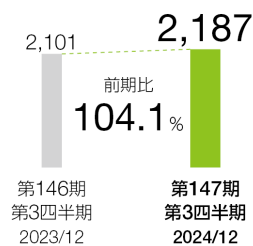
## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・調味料は、全体で増益。  
日本は増収効果あるも、戦略的費用の増加等により減益。  
海外は、増収効果等により増益。
- ・栄養・加工食品は、全体で大幅増益。  
日本は、増収効果等により増益。  
海外は、増収効果等により大幅増益。
- ・ソリューション&イングリディエントは、増収効果あるも、加工用うま味調味料の減益等により、全体で減益。

## ② 冷凍食品セグメント

冷凍食品セグメントの売上高は、換算為替の影響等により、前年同期を86億円上回る2,187億円（前年同期比104.1%）となりました。事業利益は、増収効果等があったものの、戦略的費用の増加や原材料コスト増等により、前年同期を24億円下回る76億円（前年同期比76.0%）となりました。

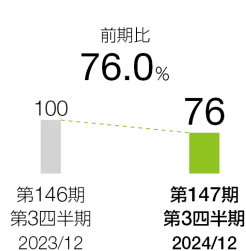
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・全体で増収。  
日本は、業務用製品が販売増も、全体で前年並み。  
海外は、構造改革の影響あるも、為替により増収。

## 事業利益(億円)

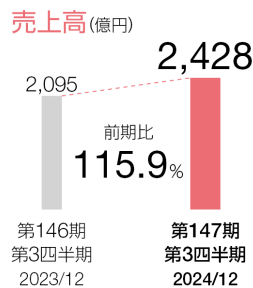


## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・全体で大幅減益。  
日本は、原材料コスト増の影響等により減益。  
海外は増収効果あるも、戦略的費用の増加等により大幅減益。

## ③ ヘルスケア等セグメント

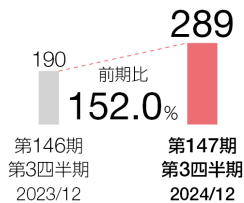
ヘルスケア等セグメントの売上高は、電子材料やバイオフィーマサービス&イングリエディエントの販売増の影響等により、前年同期を332億円上回る2,428億円（前年同期比115.9%）となりました。事業利益は、電子材料の増収効果等により、前年同期を98億円上回る289億円（前年同期比152.0%）となりました。



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・バイオフィーマサービス&イングリエディエントは、バイオフィーマサービス（CDMO）、医薬用・食品用アミノ酸の販売増に加え、為替影響により、全体で大幅増収。
- ・ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、電子材料の販売好調により大幅増収。
- ・その他は、全体で増収。

## 事業利益(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・バイオフィーマサービス&イングリエディエントは、医薬用・食品用アミノ酸は増益も、バイオフィーマサービス（CDMO）がForge社連結化影響で減益となり、全体で大幅増益。
- ・ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、大幅増収に伴い大幅増益。
- ・その他は、増収に伴い大幅増益。

## ④ その他

その他の事業の売上高は、前年同期を4億円上回る116億円（前年同期比103.7%）となり、事業利益は前年同期を27億円上回る47億円（前年同期比243.2%）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の1兆7,683億円に対して878億円増加し、1兆8,562億円となりました。換算為替の影響による各資産残高の増加に加え、現金及び現金同等物や棚卸資産の増加があったこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末の8,839億円に対して921億円増加し、9,760億円となりました。これは主として、有利子負債の増加等によるものです。有利子負債残高は、社債やコマーシャル・ペーパーの発行等により、前連結会計年度末に対して938億円増加し、5,855億円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末の8,844億円に対して42億円減少し、8,801億円となりました。利益剰余金や円安の進行に伴う在外営業活動体の換算差額の増加があったものの、自己株式の取得による減少があったこと等によるものです。資本合計から非支配持分を引いた親会社の所有者に帰属する持分は、8,114億円となり、親会社所有者帰属持分比率は43.7%となりました。

## (3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,492億円の収入（前年同期は1,034億円の収入）となりました。税引前四半期利益が1,275億円であり、減価償却費及び償却費641億円があったものの、棚卸資産の増加216億円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、502億円の支出（前年同期は1,249億円の支出）となりました。金融資産の売却による収入155億円があったものの、有形固定資産及び無形資産の取得による支出658億円があったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、473億円の支出（前年同期は1,151億円の収入）となりました。社債の発行による収入796億円があったものの、自己株式の取得による支出835億円、配当金の支払額390億円があったこと等によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、2,293億円となりました。

## (4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

## ① 資金の流動性について

当第3四半期連結累計期間は短期流動性に関し、コミットメントライン、当座貸越枠、コマーシャル・ペーパー発行枠等の調達手段によって十分な手元流動性を確保しております。

また、十分な手元流動性比率の維持に加え、主要取引銀行と締結しているコミットメントラインにより資金の安全性を確保しており、当第3四半期連結会計期間末のコミットメントラインの未使用額は円貨で1,700億円、外貨で100百万米ドルです。さらに、資金流動性リスク等が発生する可能性のある海外連結子会社に対して、当社が緊急貸付枠を設定し、一時的な資金繰りの支援体制を整備しております。

## ② 資金の調達

当第3四半期連結累計期間の資金調達は、調達コストとリスク分散の観点による直接金融と間接金融のバランス及び長期と短期の資金調達のバランスを勘案し、事業資金及びForge Biologics Holdings, LLC(以下「Forge社」)の全持分取得に係る短期借入金の長期化に関し、金融機関からの借入、国内普通社債、コマーシャル・ペーパー発行等による資金調達活動を行いました。

## ③ 資金の用途

当第3四半期連結累計期間の資金の用途は、主として事業資金及びForge社の全持分取得に係る短期借入金の長期化であります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	171,537	229,374
売上債権及びその他の債権	185,564	195,580
その他の金融資産	22,650	18,598
棚卸資産	287,122	311,552
未収法人所得税	22,505	5,349
その他の流動資産	20,252	22,769
小計	709,632	783,225
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産	—	—
流動資産合計	709,632	783,225
非流動資産		
有形固定資産	587,407	595,546
無形資産	97,810	95,589
のれん	139,879	144,380
持分法で会計処理される投資	128,538	132,536
長期金融資産	54,097	53,380
繰延税金資産	8,565	8,976
その他の非流動資産	42,439	42,594
非流動資産合計	1,058,738	1,073,003
資産合計	1,768,371	1,856,229



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	231,979	218,040
短期借入金	97,553	10,140
コマーシャル・ペーパー	53,000	76,000
1年内返済予定の長期借入金	37,717	9,457
その他の金融負債	8,885	9,954
短期従業員給付	45,916	44,543
引当金	4,440	1,224
未払法人所得税	7,031	18,212
その他の流動負債	15,045	17,793
小計	501,569	405,365
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	—	—
流動負債合計	501,569	405,365
非流動負債		
社債	149,626	229,377
長期借入金	104,598	213,184
その他の金融負債	54,544	53,112
長期従業員給付	28,865	30,971
引当金	3,905	4,352
繰延税金負債	37,859	36,780
その他の非流動負債	2,951	2,921
非流動負債合計	382,353	570,700
負債合計	883,922	976,066
資本		
資本金	79,863	79,863
資本剰余金	—	△74,230
自己株式	△49,164	△58,164
利益剰余金	657,782	707,496
その他の資本の構成要素	126,592	156,446
売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の資本の構成要素	—	—
親会社の所有者に帰属する持分	815,074	811,412
非支配持分	69,373	68,750
資本合計	884,448	880,163
負債及び資本合計	1,768,371	1,856,229

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,067,645	1,151,035
売上原価	△683,223	△729,047
売上総利益	384,422	421,987
持分法による損益	2,725	5,951
販売費	△145,043	△154,412
研究開発費	△20,221	△21,790
一般管理費	△97,385	△113,534
事業利益	124,497	138,201
その他の営業収益	4,090	3,484
その他の営業費用	△11,197	△10,742
営業利益	117,390	130,943
金融収益	5,845	6,685
金融費用	△8,790	△10,036
税引前四半期利益	114,444	127,592
法人所得税	△29,620	△36,495
四半期利益	84,824	91,097
四半期利益の帰属:		
親会社の所有者	77,602	82,441
非支配持分	7,221	8,655
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	148.64	163.08
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	148.61	163.08

要約四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	84,824	91,097
その他の包括利益 (税効果後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融 資産の公正価値の純変動	4,517	5,462
確定給付制度の再測定	13,443	△579
持分法適用会社における持分相当額	155	△67
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	422	187
ヘッジコスト剰余金	△33	99
在外営業活動体の換算差額	41,484	38,441
持分法適用会社における持分相当額	△74	△2,210
その他の包括利益 (税効果後)	59,916	41,333
四半期包括利益	144,741	132,430
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	134,999	118,900
非支配持分	9,741	13,530

## (3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	114,444	127,592
減価償却費及び償却費	57,195	64,195
減損損失及び減損損失戻入益	470	1,027
従業員給付の増減額	△3,945	△755
引当金の増減額	△6,953	△2,584
受取利息及び受取配当金	△4,737	△5,432
支払利息	3,415	5,533
持分法による損益	△2,725	△5,951
有形固定資産及び無形資産の除売却損益	1,878	2,007
売上債権及びその他の債権の増減額	△16,593	△9,007
仕入債務及びその他の債務の増減額	6,770	△2,679
棚卸資産の増減額	△16,791	△21,602
その他の資産及び負債の増減額	4,471	2,042
その他	4,432	2,135
小計	141,331	156,522
利息及び配当金の受取額	6,632	7,722
利息の支払額	△2,957	△5,035
法人所得税の支払額	△41,560	△9,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,446	149,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△52,097	△65,807
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	872	1,648
金融資産の取得による支出	△1,693	△2,384
金融資産の売却による収入	2,520	15,554
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△74,131	—
その他	△391	774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,920	△50,215

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額	75,009	△87,139
コマーシャル・ペーパーの増減額	130,000	23,000
長期借入れによる収入	153	116,976
長期借入金の返済による支出	△14,292	△35,630
社債の発行による収入	29,876	79,697
配当金の支払額	△38,338	△39,059
非支配持分への配当金の支払額	△3,549	△14,271
自己株式の取得による支出	△54,906	△83,520
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,453	—
リース負債の返済による支出	△6,812	△7,398
その他	455	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	115,141	△47,328
現金及び現金同等物の換算差額	4,317	6,087
現金及び現金同等物の増減額	97,984	57,837
現金及び現金同等物の期首残高	132,777	171,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	230,761	229,374

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主として製品別のセグメントから構成されており、「調味料・食品」、「冷凍食品」、「ヘルスケア等」の3つを報告セグメントとしております。

いずれの報告セグメントも、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

各報告セグメントに属する製品の種類は、以下のとおりです。

報告セグメント	製品区分	主要製品
調味料・食品	調味料	うま味調味料「味の素®」、「ほんだし®」、「Cook Do®」、「味の素KKコンソメ」、「ピュアセレクト® マヨネーズ」、「Ros Dee®」（風味調味料）、「Masako®」（風味調味料）、「Aji-ngon®」（風味調味料）、「Sazon®」（風味調味料）、「SAJIKU®」（メニュー用調味料）、「CRISPY FRY®」（メニュー用調味料）等
	栄養・加工食品	「クノール® カップスープ」、「YumYum®」（即席麺）、「Birdy®」（コーヒー飲料）、「Birdy®3in1」（粉末飲料）、「Blendy®」ブランド品（「CAFÉ LATORY®」、スティックコーヒー等）、「MAXIM®」ブランド品、「ちょっと贅沢な珈琲店®」ブランド品、ギフト各種、オフィス飲料（カップ自販機、給茶機）等
	ソリューション&イングリディエンツ	国内外食用・食品加工用うま味調味料「味の素®」、外食用調味料・加工食品、加工用調味料（天然系調味料、酵素製剤「アクティブ®」）、弁当・惣菜、ベーカリー製品、核酸系調味料、甘味料（加工用アスパルテーム等）等
冷凍食品	冷凍食品	餃子類（「ギョーザ」、「POT STICKERS」等）、米飯類（「ザ★®チャーハン」、「CHICKEN FRIED RICE」等）、麺類（「YAKISOBA」、「RAMEN」等）、スイーツ類（業務用ケーキ、「MACARON」等）、焼売類（「ザ★®シュウマイ」、「エビシューマイ」等）、鶏肉加工品類（「やわらか若鶏から揚げ」、「ザ★®から揚げ」等）等
ヘルスケア等	医薬用・食品用アミノ酸	医薬用・食品用アミノ酸、培地
	バイオフィーマサービス (CDMO)	医薬中間体及び原薬、無菌製剤 (Fill&Finish) 等の受託開発製造サービス
	ファンクショナルマテリアルズ (電子材料等)	電子材料 (半導体パッケージ用層間絶縁材料「味の素ビルドアップフィルム® (ABF)」等)、機能性材料 (接着剤「プレーンセット®」、磁性材料「AFTINNOVA® Magnetic Film」等)、活性炭、離型紙等
	その他	飼料用アミノ酸、スポーツニュートリション (サプリメント (「アミノバイタル®」等))、パーソナルケア素材 (アミノ酸系洗浄剤「アミソフト®」、アミノ酸系メーカーアップ用油剤「エルデュウ®」・粉剤「アミホープ®」等)、メディカルフード、農業サービス等

## (2) セグメント売上高及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上高及び業績は以下のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高は、主に第三者間取引価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	調味料・ 食品	冷凍食品	ヘルス ケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	636,675	210,163	209,594	11,211	1,067,645	—	1,067,645
セグメント間の内部売上高	5,515	40	2,854	17,338	25,749	△25,749	—
計	642,191	210,204	212,449	28,550	1,093,395	△25,749	1,067,645
持分法による損益	△594	—	△41	3,360	2,725	—	2,725
セグメント利益又は損失 (事業利益又は事業損失)	93,439	10,077	19,032	1,947	124,497	—	124,497
						その他の営業収益	4,090
						その他の営業費用	△11,197
						営業利益	117,390
						金融収益	5,845
						金融費用	△8,790
						税引前四半期利益	114,444

(注) 1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. 各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。  
全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	調味料・ 食品	冷凍食品	ヘルス ケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	677,794	218,774	242,834	11,631	1,151,035	—	1,151,035
セグメント間の内部売上高	6,361	445	3,922	24,459	35,189	△35,189	—
計	684,156	219,220	246,757	36,090	1,186,224	△35,189	1,151,035
持分法による損益	1,758	—	△74	4,266	5,951	—	5,951
セグメント利益又は損失 (事業利益又は事業損失)	96,880	7,661	28,922	4,736	138,201	—	138,201
						その他の営業収益	3,484
						その他の営業費用	△10,742
						営業利益	130,943
						金融収益	6,685
						金融費用	△10,036
						税引前四半期利益	127,592

(注) 1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. 各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。  
全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。



## (企業結合)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社の連結子会社である味の素北米ホールディングス社(現北米味の素社)を通じて、米国の遺伝子治療薬CDMOのForge Biologics Holdings, LLC(以下、「Forge社」)の全持分を2023年12月21日(現地時間)に取得し、同社及びその子会社5社は当社の連結子会社となりました。

当社は2023年2月に発表した中期ASV経営 2030ロードマップにおいて、アミノサイエンス®の強みを活かした4つの成長領域を掲げており、ヘルスケア領域はその1つとなります。本買収により、味の素グループのアミノサイエンス®とForge社の遺伝子治療薬CDMOプラットフォームを融合することで、希少疾患で困難を抱える人々に新たな治療法の道を開き、強固な先端医療分野の事業基盤を構築することにより、ロードマップの早期実現を目指します。また2050年を見据え、これまで培った技術・顧客を基盤として、次世代の事業領域に進出することで、付加価値の高い事業モデルへの転換を進め、ヘルスケア領域の成長加速と高収益化を推進します。

## ① 当社グループの業績に与える影響

前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表に含まれるForge社から生じた売上高及び四半期利益に重要な影響はありません。また、当該企業結合が前第3四半期連結累計期間の期首に実施されたと仮定した場合の影響額は、売上高は26百万ドル(3,851百万円)、四半期利益は△53百万ドル(△7,651百万円)であったと算定されます(非監査情報)。

## ② 移転された対価合計の取得日における公正価値

	金額
現金	548百万ドル(78,666百万円)

※1. 現金を対価とする企業結合に係る取得関連費用1,290百万円は、「一般管理費」に計上しております。

※2. 1ドル=143.48円(株式取得時レート)

※3. 持分取得後における価格調整が完了し、取得対価は確定しております。

## ③ 子会社の取得によるキャッシュ・アウト

	金額
取得により支出した現金	548百万ドル(78,666百万円)
取得した子会社における現金及び現金同等物	27百万ドル(3,952百万円)
子会社の取得によるキャッシュ・アウト	520百万ドル(74,714百万円)

※重要な影響はありませんが、契約に基づく価格調整金を上記に含んでいます。

## ④ 取得した資産及び引き受けた負債の公正価値及びのれん

(単位：百万円)

	金額
流動資産	8,429
現金及び現金同等物	3,952
売上債権及びその他の債権	1,049
棚卸資産	2,402
その他	1,025
非流動資産	48,586
有形固定資産	16,422
無形資産	31,924
その他	239
資産合計	57,015
流動負債	15,433
仕入債務及びその他の債務	2,770
短期借入金	8,668
その他	3,994
非流動負債	2,209
繰延税金負債	1,714
その他	494
負債合計	17,642
非支配持分	△1,516
非支配持分控除後資本合計(A)	40,889
移転された対価の合計の取得日の公正価値(B)	78,666
のれん(C)=(B)-(A)	37,777

取得した資産及び引き受けた負債については、前連結会計年度において取得日公正価値の測定が完了していないため、暫定的に算定しておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得日公正価値の当初測定額に重要な見直しが見込まれており、前連結会計年度末の取得日公正価値の測定価額と比較すると、主に繰延税金負債が6,266百万円、のれんが5,803百万円減少しております。

また、要約四半期連結財務諸表及び注記などに含まれる前連結会計年度の数値は、当該修正を反映した後の確定額に基づく金額を表示しております。

## ⑤ 取得した債権の公正価値、契約上の未収入金額及び回収不能見込額

取得した「売上債権及びその他の債権」の主な内訳は売掛金であり、その公正価値は7百万ドル（1,049百万円）です。契約金額の総額は7百万ドル（1,049百万円）であり、回収不能と見込まれるものはありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

前連結会計年度に行われたForge社との企業結合について、前連結会計年度において取得日公正価値の測定が完了していないため、暫定的に算定しておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。また、前連結会計年度に関連する連結財務諸表は、暫定的な会計処理の確定による内容を反映させた金額としております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。